

【北浦和壹心館】2025年度 共通テストチャレンジ結果

全国平均	英語R	英語L	数学①	数学②	国語	物理	化学	地理	情報	合計
	57.69	61.31	53.51	51.56	126.67	58.96	45.34	57.48	69.26	581.78
在籍生(全学年) 平均点&平均点格差	57.89	62.67	67.00	83.75	130.13	58.50	46.00	53.25	74.50	633.68
	+0.20	+1.36	+13.49	+32.19	+3.46	-0.46	+0.66	-4.23	+5.24	+51.90
高1生 平均点&平均点格差	54.00	57.60	58.80	-	116.60	-	-	-	-	287.00
	-3.69	-3.71	+5.29	-	-10.07	-	-	-	-	-12.18
高2生 平均点&平均点格差	62.75	69.00	77.25	83.75	152.67	58.50	46.00	53.25	74.50	677.67
	+5.06	+7.69	+23.74	+32.19	+26.00	-0.46	+0.66	-4.23	+5.24	+95.89

※理科・社会で受験者がいない科目は割愛

※高1合計および平均点格差は英R・英L・数①・国のみで算出

◆共通テストチャレンジとは？

高3生・受験生たちが受ける「大学入学共通テスト」とまったく同じ問題を、同じ日に高1生・高2生たちが解き、現段階の学力の定着度を測るために、ハイスクール@willでは毎年実施しているもの。

大学入学共通テストは、毎年平均点にバラツキはあるものの、受験生たちの各教科の平均点は5～6割ほどに設定されており、今年度の結果は表の最上段に記載。

高校の教科書内容のみから出題されるため、教科書レベルの内容がしっかりと定着していることが高得点を取るには必要不可欠となっているが、高1生・高2生であっても履修内容をしっかり理解していれば十分に得点可能となっている。

◆大学入学共通テストの形式

記述式ではなく、マーク式の問題。単なる選択問題だけではなく、「思考力」「発想力」「表現力」が求められる問題が揃っている。

数学は計算した解答を選ぶのではなく、問題用紙に記載された解法に見合った数値を埋めていく誘導形式となっており、記述式の問題とは異なり、多様な解法パターンを把握していないと得点し辛いものになっている。英語は試験時間80分で約6000語の単語を読まなければならないため、語彙力だけでなく速読力も求められる。理想は150wpm(ワーズ・パー・ミニッツ)の速さで、1分間で150語を読んで理解できるペースで読めるようにする必要がある。

国語は、今年度から大問5つとなり、試験時間も90分と長くなっている。英語と同様に、速読力はもちろん読解力も求められる。

◆共通テストチャレンジ結果分析

【高1生】

英語については、語彙力というよりも速読力が身に付いていないことが点を取り切れなかった大きな要因。日頃から音読トレーニングを意識して取り組んでいるかどうかで得点も変わってくるため、継続的に取り組んでいく必要がある。数学は高1生ながら、全国平均点を上回る結果となったが、まだまだ誘導式のマーク問題に不慣れな部分もあるため、応用問題演習をしながら、速く・正確に解くことを意識していく必要がある。

【高2生】

高2でありながら、全国平均を大きく上回る結果を取ることができてる。しかしながら、英語などの語学系は日頃の積み重ねが大きく左右するため、受験生たちと比べると定着が弱いことは明白。また、理科・社会はまだまだ定着はおろか受験範囲も終わらせていないため、早急に理科・社会を完成させ、演習メインに取り組んでいく必要がある。



sanaru GROUP

スクール21

ハイスクール@will

大学受験

ハイスクール@will